

インフルエンザ(2026年第11週)疫学情報

《コメント》

2026年第11週の定点当たり報告数は11.66(患者報告数44,322)となり、前週の定点当たり報告数14.33よりも減少した。都道府県別では北海道(24.13)、長野県(23.52)、石川県(21.36)、岩手県(20.98)、青森県(20.73)、新潟県(20.69)、富山県(20.29)、鳥取県(17.69)、福井県(17.41)、山形県(16.97)、島根県(16.80)、群馬県(15.42)の順となった。全国47都道府県中、4都道府県では前週の報告数よりも増加し、43都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は287例であり、前週(354例)から減少した。46都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(16例)、1~4歳(65例)、5~9歳(64例)、10代(38例)、20代(9例)、30代(18例)、40代(8例)、50代(8例)、60代(11例)、70代(20例)、80歳以上(30例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第7週~2026年第11週)では、B型が409件(95%)、AH3亜型が18件(4%)、AH1pdm09が5件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。